

週間市場レポート (2020年6月15日~6月19日)

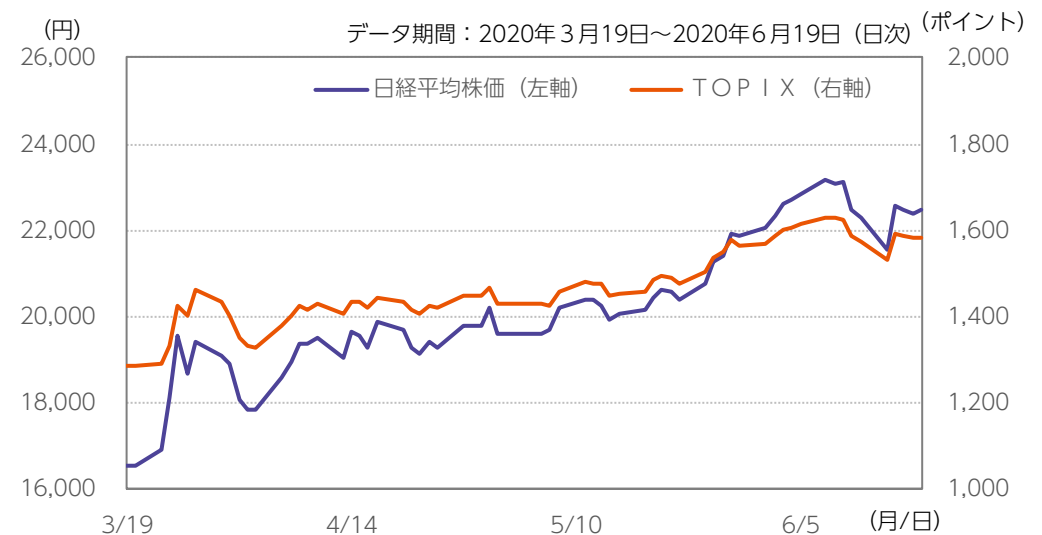
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/6/12	先週末 2020/6/19	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		22,305.48	22,478.79	0.78 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,570.68	1,582.80	0.77 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		25,605.54	25,871.46	1.04 ↗
S & P500種指数		3,041.31	3,097.74	1.86 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,153.74	3,269.10	3.66 ↗
S & P/ASX300指数		5,817.35	5,911.04	1.61 ↗
上海総合指数		2,919.74	2,967.63	1.64 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		793.56	807.45	1.75 ↗
東証REIT指数		1,716.68	1,684.76	▲1.86 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		676.79	671.45	▲0.79 ↘
ASX300 REIT 指数		1,244.50	1,272.00	2.21 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		160.48	158.31	▲1.35 ↘
日本10年国債 (%)		0.01	0.02	0.01 ↗
米国10年国債 (%)		0.70	0.69	▲0.01 ↘
ドイツ10年国債 (%)		▲0.44	▲0.42	0.02 ↗
英国10年国債 (%)		0.21	0.24	0.03 ↗
ドル/円		107.38	106.87	▲0.47 ↘
ユーロ/円		120.89	119.46	▲1.18 ↘
英ポンド/円		134.66	131.99	▲1.99 ↘
豪ドル/円		73.72	73.05	▲0.90 ↘
フィラデルフィア半導体指数		1,903.85	1,966.79	3.31 ↗
WTI原油先物 (ドル)		36.26	39.75	9.62 ↗
CRB 指数		134.32	137.97	2.72 ↗
アレリアンMLP指数		789.83	803.77	1.77 ↗

2) 日本の株式・債券市場

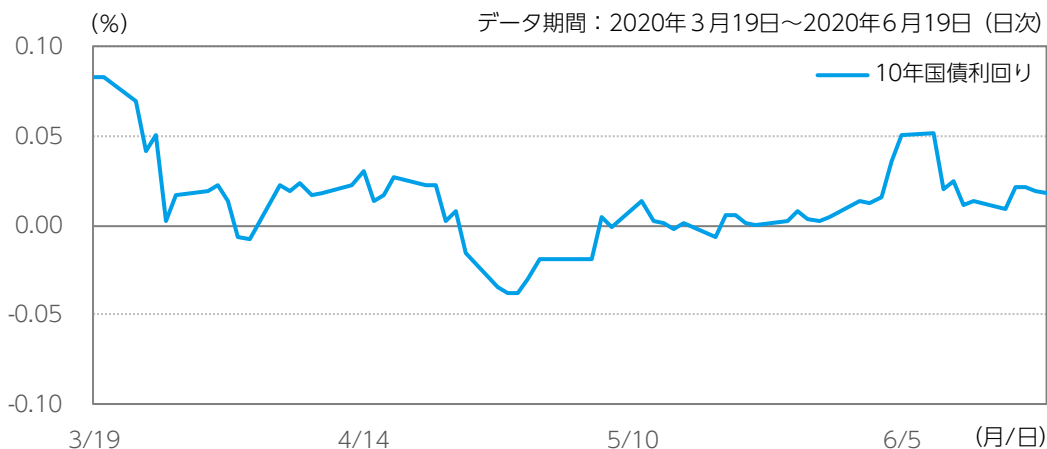
≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇しました。週初は、中国での新型コロナウイルス感染第2波への懸念などから下落したものの、その後は米国による大型の景気支援策が好感され、16日（火）は、大幅上昇しました。週央以降は、米国での感染者数の増加を受けた世界景気の悪化懸念から売りが優勢となったものの、週末は、国内での移動制限が全面解除となり、景気回復への期待感から上昇となりました。



≪ 債券 ≫

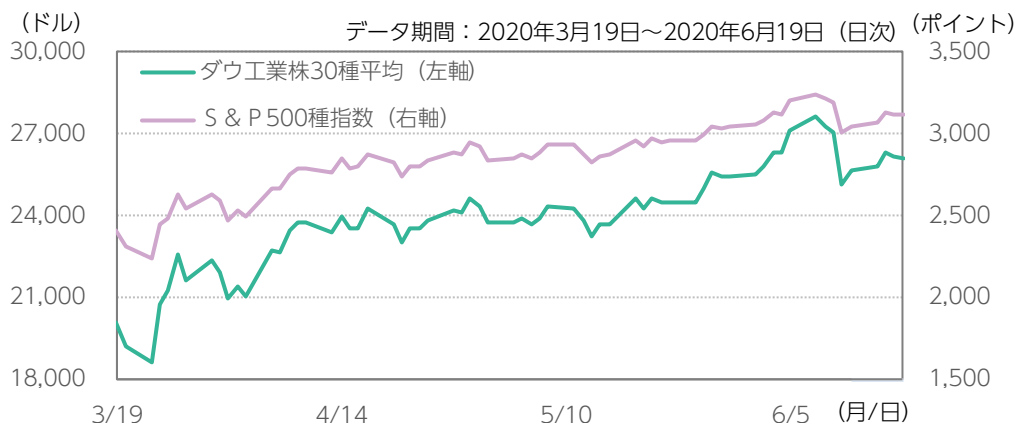
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。
 新型コロナウイルスの感染第2波への懸念などから、相対的に安全な資産とされる債券は買いが優勢（利回りは低下）となりました。その後、日経平均株価の上昇を受け、投資家のリスク選好姿勢が強まったことから債券は売りが優勢となり、週間では金利上昇となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

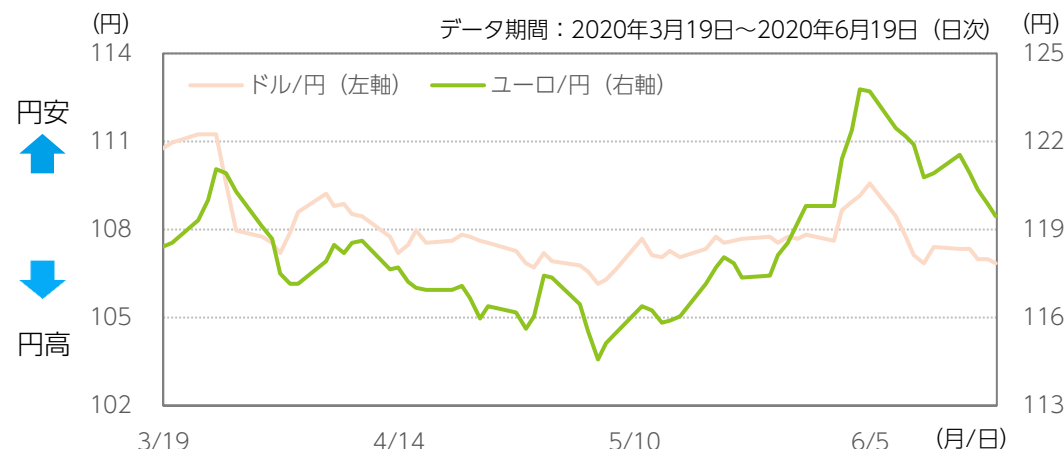
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。
 大規模なインフラ整備計画や、米金融当局による企業への資金支援策の開始が好感され、週前半は上昇となりました。その後は、経済活動を再開した一部の州における新型コロナウイルス感染者数増加を受けた感染第2波への懸念の高まりから、週末にかけて下落基調となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。
 新型コロナウイルスの感染第2波への懸念を背景とした投資家のリスク回避の動きから、相対的に低リスク通貨とされる円は買われました。対ユーロでも、円買いユーロ売りが進行しました。



5) 今週の見通しについて

先週の米国株式市場は、大型の景気支援策を背景に上昇し、日本でも移動制限の全面解除からの景気回復期待から上昇となりました。

国内では、19日（金）に都道府県をまたぐ移動制限と、接待を伴う飲食店などへの休業要請が全面解除され、米国でも、ニューヨーク州が当初の予定どおり22日（月）より、店外飲食などの行動制限を緩和させる見込みであり、経済活動のさらなる活性化が予想されます。

しかし、経済活動を再開した欧米やアジア諸国の一部地域において再び新規感染者が増加しています。18日（木）には世界の1日の新規感染者数が過去最多の15万人となり、WHO（世界保健機関）は「危険な新局面」と警戒を強めています。経済活動のさらなる活性化に期待が高まるものの、世界における感染者数の増加と感染第2波への警戒感が重荷となり、今週の株式市場も引き続き上値の重い展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>